

すずらん

社会福祉法人健康の森学園が児童福祉サービスを新見地域で始めました。常時4名の女性スタッフと週1〜2日の男性スタッフとで支援させて頂いています。子供たちの発達支援と保護者の相談等や各関係の方々との連携をしっかりと行い、スタッフ一同力を合わせて頑張っていますのでよろしくお願い致します。



すずらんの笑顔

施設長 真鍋 衛

学園歌のなかに「すずらんの笑顔に満ちた高原よ」というフレーズがありますが、敷地内の2カ所に、学園のシンボルマークにもなっているすずらんが植えてあり、毎年6月頃には白い小さな花の可憐な姿を見ることが出来ます。

この学園歌は、岡山県健康の森学園開設準備事務局の頃に、当時一番若輩者であった私から準備事務局長に話したところ、「学園歌なあ」と一言つぶやかれたことを覚えています。その後数ヶ月して、手書きの段階の学園歌を誰よりも早く見せていただき、「どんなかなあ」と感想を求められました。しかし何も言えずに、ただこれから開園する岡山県健康の森学園の基本となる内容を読んで、決意とともに感動したことを今でも覚えています。以来、全国的に類を見ない学校と施設を併せた岡山県健康の森学園の歌として好きな曲の一つになっています。

さて、このような開設時の思いを胸に刻み27年が過ぎましたが、その間に障害者自立支援法や障害者総合支援法、さらには指定管理制度や新体系移行制度など、度々の大きな変革により施設の仕組みが大きく変わり、施設福祉サービスだけでなく地域への福祉サービスの充実が求められるようになりました。

当法人においても地域生活者の支援をすすめるため、グループホームの充実をはじめ、相談支援事業や短期入所事業と日中一時支援事業を行っています。また、さらに今年度からは児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業を開始しており、これらの地域向けの福祉サービスを充実させることにより、障害をもたれた本人やご家族の方の暮らしの安心に今後とも微力ながらお役に立ちたいと思います。

入所式・新入所生歓迎会

4月5日平成29年度健康の森学園障害者支援施設の入所式が行われました。今年度は3名の方が入所され、「けんもり」の仲間となりました。また、4月17日に友だちの会（自治会）が中心となり、新入所生歓迎会が行われました。まず、自己紹介して、みんなで会食し、その後はみんな
で交流したり、レクリエーションを楽しみました。



田植え祭り



5月26日健康の森学園の田植え祭りが開催されました。心地よい風を感じながら、学園生の他に、市内の各種団体が参加し、声を掛け合いながら田植えに汗を流しました。田植えの後には、秋に開催される収穫祭にふるまわれるお米の出来具合を期待しながら、参加者の皆さんと一緒に弁当をいただきました。

「もりっこ」開所式

5月31日「もりっこ」の開所式を行いました。昨年より、児童福祉サービスを行うため、多くの方のご協力をいただき解説の準備を進めてきました。開所式では、多くの来賓の方にご臨席をいただき、はじめに岡田理事長より挨拶があり、その後真鍋施設長が開所までの経過説明がありました。新見地域の多くの方に必要として頂けるサービスを行えるよう、一層の向上を目指していきます。



保護者会研修



7月15日に保護者会の研修視察が行われ、今年度は、倉敷市の美観地区へ行きました。みんなで会食した後、それぞれのグループに分かれて美観地区を見学したり、買い物をしたりして楽しい時間を過ごしました。保護者同士、職員との親睦が図れたことと思います。

畜産班

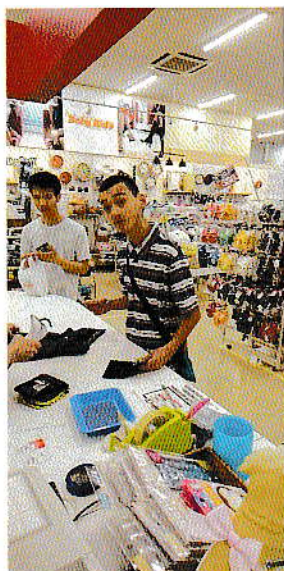
子牛誕生

5月21日、7月1日、8月23日と子牛が産まれました。それぞれ、「山斗（オス）」「ゆきひめ（メス）」「みすず（メス）」と命名しました。餌をしっかりと食べて元気に大きく育ってくれることを楽しみにしています。



学習

7月5日畜産班は、買い物学習を行いました。当日までに担当と買う物を計画し、買い物の仕方等を事前に学習しました。当日は、計画した衣類や日用品を求めて新見市内のお店に行き、自分で選び、計算しながら買い物をすることが出来ました。



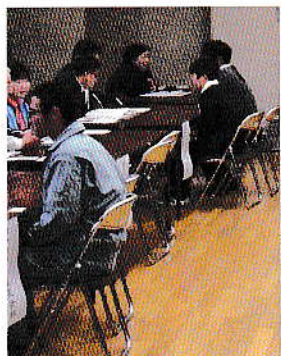
農産班

福祉ニコニコ市

7月7日新見市自立支援協議会主催の「福祉ニコニコ市」がサンパークで行われ、新見市内の事業所が参加し、各事業所で作った生産物を販売しました。学園からは、野菜や花、椎茸の他、支援学校が作った森のせっけんを販売しました。夕方には、自分たちが作った生産物が売れているのを全員で見学し、お客さんに「ありがとうございます」と大きな声で挨拶していました。

就労面接会

10月23日新見市・ハローワーク新見主催の「新見地区障害者就職面接会」に就労移行サービス利用者の皆さんが参加して各事業所の人事担当者の方と面接をしました。当日は10社の事業所が来ておられ、それぞれの人事担当の方が就職を希望している本人と事業所の概要や実習希望等の話をしていました。参加者は雇用に向けてしっかりとアピールしていました。



林産班

全国椎茸品評会研修

6月15日鳥取県民体育館で開催された品評会に林産班の利用者16名と職員で参加してきました。全国大会で受賞した椎茸の展示がされていました。会場では他の椎茸農家の方々と交流でき、良質な椎茸作りのアドバイスや利用者の皆さんに応援の言葉をかけてくださいました。今年は残念ながら健康の森の椎茸は入賞できませんでしたが、さらなる技術の向上を目指し、来年はまた全国大会で賞を頂けるよう努力しなければという気持ちになりました。



起震車体験

9月25日今年度第4回の避難訓練を実施しました。今回は、起震車による地震疑似体験を行い地震発生時の揺れを体験するとともに、自分の身を守ることを勉強しました。新見消防署本部職員の方に地震の恐ろしさや地震発生時の行動など話をしていただき、利用者の皆さんは順番に起震車に乗り、実際に地震の揺れと発生時には、テーブルの下などに入り、身を守る訓練を行いました。



不審者対応訓練

10月26日に職員研修として不審者対応訓練が行われました。新見警察署の指導のもとシミュレーションを行い、実際に不審者が来たときの対応を訓練しました。



収穫祭

10月28日「収穫祭と作品展」が小雨の中、大勢の方をお迎えして盛大に開催されました。高等部の和太鼓の演奏を皮切りに各班が日頃心を込めて育てた大根や卵、生椎茸等が販売され、来客者の方に喜んで頂きました。午後からは、運動機能訓練棟で新見第一中学校吹奏楽部による演奏が披露され利用者をはじめ、来園された地域団体や保護者の方を魅了しました。また、運営には、吉備国際大学の学生や就実短期大学の学生、けんもり応援団の方がボランティアとして活躍してくれました。



「僕の夢」

八木瑠衣

利用者の声

僕の将来の夢は、保育士サポートになって小さい子の親代わりになりたいことです。保育士サポートになって小さい子と遊んだりハロウィンが来たら子供たちとワイワイと仮装して楽しくみんなでワイワイと笑いながら遊べるそういう保育士サポートになりたいと思っています。誕生日が来たら誕生日会とか出来る保育士サポートになりたいと思っています。

「おしらせ」

社会福祉法人健康の森学園では、ホームページを開設しています。法人の概要や提供しています福祉サービス、各行事や日常の様子（ブログ）を載せております。ブログは定期的に更新をしておりますのでご覧ください。また、この度新しくパンフレットを事業ごとに作成致しました。トップページの福祉サービスの福祉サービス欄より閲覧できますので、是非ご覧ください。

サービス向上委員会

平成28年度 苦情受け付け状況

- ◎他の利用者に対するもの……………3件
 - ・言葉遣いが悪い、態度が悪い
 - ◎職員に対するもの……………1件
 - ・職員の言葉遣い、態度が悪い
 - ◎相談、要望……………1件
 - ・サークルが終わってからお茶を飲みたいので、調理室をあけて欲しい。
 - ◎グループホームに関するもの……………1件
 - ・世話人の態度を直してほしい
- ※平成28年度6件の受付があり、それぞれに話し合って解決したり、改善に努めています。

入所された利用者

入所者

赤澤 優介さん 4月（支援学校より）
 藤田 聖矢さん 4月（支援学校より）
 八木 瑠衣さん 4月（支援学校より）